

11月



2020, 11, 16

縄瀬 保育園

山元 紀代美

NO16

(みんなちがってみんないい!!)

「お母さん、ぼく、ゆっくりがいいなあ・・・」

息子が3,4歳の時だったでしょうか?ふっと漏らした言葉です。当時、正職で中堅の保育士としてバリバリ(?)仕事をしていました。2人の子どもを抱えて、毎日忙しい日々を送っていました。忙しい毎日の中で何かに追い立てられるように、「あれもして・・・これもして・・・次はこうして・・・」といった日々。もちろん子ども達にも「早くしなさい!」「しっかりしなさい!」と言い続け、本当に余裕などありません。わが子は大好きだけど余裕がない!そんな時マイペースの息子が言った言葉です。息子は小さい時から、洗濯かごに入るのが大好きで、2時間入って遊んでいたことがあるような子どもでした。本当におっとり、マイペースな子どもでした。

情けない私はそんなことはずっとスルーして忙しく子育てしていましたが、今、保育園の子どもを見ていてこの一言の重さを感じています。

忙しいお母さんたちを見ていると、あの時の私のように「はやくしなさい!」「しっかりしなさい!」・・・親の気持ちは痛いほどよくわかります。しかし、年を重ね子ども達の気持ちもわかるようになってきました。「早くって?」「しっかりってなに?」抽象的で子ども達には分かりづらいんですよね。特に「しっかり・・・」なんて何をどうしたらいいのかわかりません。ただお母さんの怖い顔(困った)を見るのが嫌で、頑張る子ども達です。

おとうさん
おかあさん
わたしたち小さい子どもは
ひとりではなにもできません。
あいされない
こころはしんでしまいます

きっといつか あなたに
あたたかくて
やさしいものをあげるから

いそがないで
あせらないで

わたしたちとてをつないで
ゆっくりと
こころゆたかにいきいきしましょうよ

深見じゅん 「ぽっかぽか」より

先日、「3歳になるんですけどオムツが外れません」と相談を受けました、それから次から次へとお話をさせていただきます。「もうすぐ3歳なのに・・・お箸も上手に持てないんですよ!」「お昼寝をいやがるんです・・・」「私が離れると泣くんです・・・」と心配がいっぱい。苦しいだろうなと思いながら「大丈夫!5歳になってもできない子はいるから・・・」と話をして「もう少し力を抜いて、子育てしてみてくださいは?」とお話しさせて頂きました。お母さんの不安な様子を見て、子どももどこことなく不安そうです。「ゆっくり大きくなりなさい。一緒にいられる期間は短いよ。ゆっくりね。」とお話ししたところです。お母さんがどう受け取られたかは、定かではないのですが、なんだかこの忙しい世の中の仕組みをさみしいなあと思うことでした。

お母さんは忙しい!だからこそ、子ども達が1日の大半を過ごす保育園では、ゆっくりと流れる時間の中で、存分にやりたいことを経験させたいと思うのです。1人1人の個性を大事にして、その子が満足するまで、遊ばせてあげたいと思います。そして、昔から続く子育ての「〇〇でなければならない・・・」という間違った考えからお母さんたちを解放してあげたいと思います。真面目なお母さんほどこれにやられてしまっているようです。もっと子どもを信じて、待ってあげたいと思います。これは管理保育から「子どもが主体の保育」に変えてきた私たちの実感です。そんなに早く出来なくてもいいんです。いずれは出来るようになるから!

今、縄瀬っ子を見ていて、子どもらしいなあと自負しています。自分の感情をストレートに出せる子どもが多くなりました。笑顔がいっぱいです。幼児期はこれでいいと思っています。